

女性委員長でスタート 6月8日台東生涯学習センターにて 台東に支部誕生



《支部大会開かれる》

50人の組合員をめざして
台東支部

。6月8日、台東区にCU東京の支部が誕生

しました。何とか大きくして、自立して活動できる規模まで育てていかなければならないと考えています。当面は50人の規模が目標となります。今後の一年で実現したいことです。

台東区労連を構成する労働組合からの二重加

コミュニティユニオン東京

共済の説明会

**5月29日 オンライン併用で
共催学習会開かれる。**
**CU東京共済・全労連共済を
学ぶ**




LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@647ckybg
LINE@647ckybg (LINE公式アカウント) 検索ワード: 647ckybg



こみゅーとニュースなど、
組合員の皆さんに、様々な
情報をお知らせします。公
式アカウントのお友達登録
を、お願いいたします。

盟を中心とした協力を要請し、組合員の拡大を最も重視していきます。継続していくためにも地元で長く活動していける活動家を要請していきます。

執行委員長にはどうしても女性の組合員を、と新委員長を遠藤知子さんを選出しました。今期の途中でも女性の執行委員を要請していきます。

CU東京台東支部役員

執行委員長	遠藤知子
副委員長	寺山邦裕
書記長	山田三平
執行委員	東坊城真長
執行委員	白滝誠
会計監査	東坊城敦代

駆け込みから居場所へ 中野支部



5月18日(土)CU東京中野支部第8回定期大会を開きました。真夏のような暑さの中、10人が参加しました。はじめにCU東京の白滝書記長から来賓あいさつを兼ねた講演でミニ学習会、テーマは「私たちを取り巻く状況と労働運動」。

24春闘はストライキを構えて労働組合らしいたたかいで30年程ぶりのベアを勝ち取った。しかし物価高騰に追いつかず、実質賃金は過去最長の24ヶ月連続マイナス。非正規春闘が2年目、ひとり組合でも成果を得る経験が広がっている。最賃のたたかいも通年で広がっている。など学びました。

中村文康支部委員長が「支部8年目、19人

でスタートして40人まで来た。50人超めざして運動の継承が課題」とあいさつ。討論では、「駆け込みの居場所の役割のためにレク活動も必要」「毎月の最賃宣伝で、関心の高まりを感じる。横断幕を新しくして、呼びかけも工夫したい」「追加提案された都知事選のとりくみに大賛成。中野でも市民と野党の共闘を強めて頑張る」など、積極的な発言が続きました。

活動報告と運動方針案、決算報告と予算案、24年度役員が全体の拍手で承認・決定されました。

24年度中野支部役員

委員長	中村 文康		
副委員長	山口 君彦	石井 富郎	
書記長	菊池 恒美		
書記次長	板垣 寿一	牧野 大志	
執行委員	中村 裕次	中村 健一	
	今福 郁		
会計監査	菊池 亮		

地域のよりどころとして 豊島支部



6月8日、東部区民事務所第1集会室にて、第6回豊島支部定期大会を開きました。

CU東京の提起する組合員拡大月間に呼応して6月末までに5名の組合員を拡大し、次の定期大会までに60名をめざすことを確認しました。

また、組合員の交流・親睦の場として懇親会を持ち、ニュースを2か月に1回の割合で発

行していきます。相談員の確立・増員をめざし、労働相談学習会を開催します。仲間の声に応えて、労働者の生活と権利を守り、地域のよりどころとして、また社会的役割を発揮し、一人でも入れる地域の労働組合として奮闘する決意を確認しました。

CU東京豊島支部役員

執行委員長	作田信義
副執行委員長	土多松雄
書記長	松崎 由美子
書記次長	山中 学
会計	熊谷 雅敏
執行委員	平塚 浩章
〃	吉田 君江
〃	滝沢 敬二
相談員	市川 康世
会計監事	阿部 正幸

人間らしく、自分らしく 渋谷支部



6月16日日曜日、笹塚区民会館において、第13回定期大会を、渋谷支部は行いました。

毎月の執行委員会や駅頭や地域に出て、労働組合を知らせていく宣伝を積極的に行ってきました。交流会（ボウリング大会）は久しぶりに行い、新しい仲間が増えました。

組合員相互の交流親睦をはかり、組合員の要望・意見を生かして、参加しやすいものにしていくことや組織の前進をめざして頑張ることを確認しました。

大会後、「自分のストレス反応に気づく」と題して、東京保険生活協同組合相談支援センタ

2024年「春の拡大月間」は 1800人目指して

拡大目標を達成し、 七夕に新しい知事の誕生を

仲間を増やす「春の拡大月間」は、目標124人に対して6月20日時点では78人が加入しました。1780人になりました。6月末（大会時）までに目標を早期達成し、1800人組合を実現しましょう。



さらに、七夕に新しい都知事を誕生させ、自民政治に審判を下し、暮らし応援の東京へ、都政の抜本的転換を実現する歴史的なたたかひに打って出ましょう。

★足立が月間目標を 超過達成しました

ちよだが拡大目標を超過達成し、港支部も拡大目標を達成しました。どちらの支部も労働相談に対応して、解決に向けた取り組みを始めるために組合加入したことです。また、三多摩もこの間3人の新規加入がありました。

の菅谷幸彦さんに、お話しいただきました。

心の病気は、誰でも発病する可能性のあるもので、自分のストレス反応に早く気付くことが、大切で、いつもと違うと思ったら、相談、受診をしましょうと話されました。

CU東京渋谷支部役員

執行委員長 井上敬亮

副執行委員長 松浦由紀子

田中広喜

書記長 田辺勝彦

執行委員 伊藤栄江 海崎治代

荒井桂子 丹野典子

高田京子 大能清子

会計監査 田中重一

《活動報告》

被爆地広島へ行進

江東支部



「2024年原水爆禁止国民平和 大行進」の出発集会在、江東区夢の島の第五福龍丸記念館前で開催され、600人が集まりました。

出発集会では「アメリカの核の傘のもとで戦争準備をすすめる岸田政権にノーをつきつける行進だ」と主催者あいさつしました。ロシアによるウクライナ侵略やイスラエルによるガザ地区でのジェノサイドが拡大する中で核抑止力論から核使用の危険性が高まっています。

この行進は8月6日のヒロシマ原爆記念日に広島市に到着する91日間の行進です。通し行進者も紹介され元気よく決意表明がありました。

女性差別撤廃条約選択議定書学習会 女性会議



女性会議は、6月15日土曜日午後、あかつき印刷ゆいのわをお借りして学習会を、行いました。女性差別撤廃条約の10月CEDAW（セドウ）審議に向けて、日本の現状や条約の説明を、婦団連柴田真佐子会長に、お話しいただきました。

10月CEDAW審議は、レポートを提出して、審議の傍聴やロビー活動を目的に、日本から代表を送ります。女性会議の伊東弘子議長を、私たちの声を届ける代表として、婦団連の代表団のひとりとして送り出すことをお願いしました。

桑田佳祐が名曲のカバーをNHKで披露した。その1曲1966年美輪明宏作「ヨイトマケの唄」は「土方」が差別用語とされて民放では長らく放送禁止だったが、12年には美輪本人が「紅白」で歌った。意識は社会とともに変化し、言葉の捉え方も変わる■80年代初めころまで建設業には徒弟制が残り、中学出てすぐに住み込み、1カ月6千円で雑用、家事手伝い、親方・兄弟子は絶対の存在。最低賃金も労基法も存在しない世界だった■蓮舫さんが「次の東京」公約を出し、都が発注する契約での雇用を都の責任で改善するとした。民間への公共工事や委託などの賃金底上げを目的とする「公契約条例」。大恐慌時代のアメリカが発祥、戦後はILO条約に入っていた■東京土建などが30年近く制定運動に取り組んでいて、都内基礎自治体では広がっているものの、歴代都知事は見向きもしなかったのが、いきなり都政の争点に出た■時代は世論と運動で大きく変わる。7月7日投票日を転換の日に。